

# Letters

レターズ / 会員の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

## 新潟県新発田市 Y・Aさん

この度は中学校入学のお祝い金をいただき、ありがとうございました。大切に使わせていただきます。

小学校入学時は「パパがいなくていじめられないかなぁ…」と心配していた子どもでしたが、今では友達もたくさんでき、楽しく毎日を過ごしています。中学生になり、新しい環境に慣れるか等、また心配事は増えますが、色々な方が応援してくださることを忘れずに親子共々頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

## 北海道恵庭市 H・Mさん

いつもお世話になっております。

娘は無事に第一志望の高校に進学が決まり、春からの新しい生活に期待のみで過ごしています。(なぜか期待のみ。不安はないらしい)

昨秋、進路について娘と話し合った際、娘が進みたいといった学校は私立高校でした。今、費用面が優遇されているとはいえ、何故私立なのか公立高校では駄目なのか、ちょっと親子間で険悪になりました。「ちゃんと納得するように何故その学校に行きたいのか、プレゼンしてみなさい」と言うと、自分の将来の夢やそのためにこうしたいと言うことを初めて話してくれました。(行きたい大学の付属高校に行きたいと言われました。)一人娘でボーっとした子なので将来的なことまで考えていたなんて知らなかったので嬉しい驚きでした。

きちんとした夢があるなら、そのために行きたい学校があるなら、なるべく叶えてあげたいと思っています。

子供は成長するのに親はあまり成長しないので(子供と同じくらいボート毎日している)反省して何かを始めなきゃと思い過ごしています。ありがとうございました。

## 東京都江戸川区 K・Iさん

いつもありがとうございます。今年中学を卒業する長男は、ただ今反抗期真っ最中です。小学校低学年で父親を亡くしてから、特に手がかかる子供ではなかったのですが、中学2年生頃から私との会話が少なくなり(話しかけてもああ、とか、うるさいな、とかばかり!)「どうどう反抗期が来たか…」という感じです。

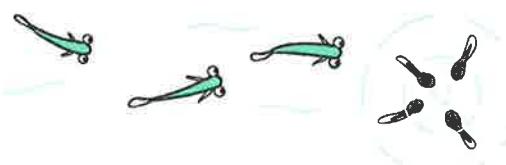
反抗期には私にも身に覚えがあるものの、考えてしまうのは「男の子だし、こんなとき父親がいてくれたらもっとうまく対応できたのだろうか」ということです。そんなことを考えても仕方ないのですが…

今はある程度の距離感を保つつ、成長していく様を見守っていこうと思います。心を込めて食事を作り、それを息子が完食してくれる。それが母と息子のコミュニケーションだと思っています。たまには「おいしかったよ」なんて言ってくれれば嬉しいのですが(笑)

## 鳥取県日野郡 M・Sさん

この度は橋本給付金をありがとうございました。長男次男に続き、三男もこのお祝い金をいただく年齢になったかと感慨深いです。(父親が亡くなった時、二歳になっていました)

成人した長男は、現在、東京で大学生活を送っています。公認会計士の資格を取りたいと、大学の勉強との両立に悩みながらも頑張って勉強しています。次男も希望する大学、学部に入学できるよう二次試験を直前にして毎日受験勉強に励んでいます。三男もがんばる兄達の姿を追いかけ、高校入試へ向け日々努力しているところです。どの子も自分たちの夢に向けてまっすぐにがんばれるのも、経済的に心配することなく安心していられるからだと思います。支えて頂き、本当に感謝しています。



## 大阪府和泉市 N・Hさん

ご縁があって昨年ネコちゃん2匹を飼うことになりました。資金繰りや日々のお世話に不安がありましたが、子ども達2人も中学生ですし、本人たちが強く希望しましたので、迎えることとなりました。

そして、今まで以上にこの2匹のお陰で家族の笑いが多くなり、心をいやしてくれる大切な存在となりました。これから心豊かにみんなで過ごしていけたらと思います。

## 匿名希望

今度の4月で丸6年、7回忌です。事故後数カ月たってから基金の広告を市役所で見つけました。広告が置いてあった課の人聞いても誰も何も知らず、本当に失礼なことですが信用できるのかどうかも分からぬ状態でした。もちろん身近な人にはこのような経験をしている者はおらず、半信半疑のまま入会いたしました。

入会してみると様々な支援があり良かったと思えるのですが、やはり大金を一度支払うということで、とても心配だったことを覚えています。だから、市役所の方々にももう少し宣伝して、安心できる団体であることをアピールしてもらったらもう少し抵抗なく入会できたと思います。

今は入会して本当に良かったと心から思っています。

## 北海道河東郡 T・Nさん

交通事故で夫を亡くし、私自身も負傷し、今も杖についての生活ですが、あれから10年が過ぎ当时5歳だった娘ももうすぐ中学校を卒業します。高校受験に向けて志望校合格を目指し、猛勉強？しているようです。

母と子2人の生活の中で素直に、特に問題も起こさずここまで成長できたのは、周囲の皆様の助けや見守りがあったからだと感謝しています。先行きがわからない世の中ですが、いろいろな困難を乗り越え、自分を大切に生きていく強さを持った大人になって欲しいと願っています。ありがとうございました。

## 大阪府門真市 H・Mさん

育成給付金完了のお知らせをいただきありがとうございます。長期にわたりお世話を感謝しております。

事故当時6歳と4歳の孫との不安な日々を過ごなければと覚悟しておりましたが、給付のおかげで無事、教育を受け素直に成長しています。今後も自立した社会に役立つ生き方をしてもらえるように祈っています。

## 新潟県魚沼市 K・Cさん

4月に長男は高3、次男は中学へ入学しました。毎日部活（野球）、勉強の両立に大変ですがなんとか頑張っています。長男は今年、進路を決定する大切な時期がきてしまい月日の早さにとまどっています。母親としてどうアドバイスしたら良いのか…悩むところです。なるべく本人の希望の道へと思っていますが、とにかく家族全員元気で何より感謝しています。これからもお世話になりますがよろしくお願いします。

## 愛知県名古屋市 Y・Aさん



## 茨城県龍ヶ崎市 K・Mさん

主人が亡くなった時、娘は0歳あと少しで誕生日でした。1歳を3人でお祝いすることができず、娘の成長を1人で喜び、一緒に分かち合えない悲しみも同時にこみ上げてくること、何度も何度も繰り返して大きくなってくれました。

志望校に合格し張りつめていた気持ちからも解放されて親子共々ほっとしました。制服のサイズ合わせも終わり、新しい制服を着て学校に通うのを楽しみにしています。

中学入学時もいただいたお祝い金を制服代に使わせていただきました。必要なものは揃えてあげることができました。基金のおかげです。ありがとうございます。これからもお世話になります。

## 埼玉県さいたま市 O・Aさん

主人は息子が三歳の時に亡くなり、息子の記憶には残っていないので始めは覚えていない…と言う息子の言葉に悲しんでおりましたが、きっと男の子なので上手には表現できないけれど、しっかりと父親の存在や愛情は心に刻まれているんだろうな、と勝手に思っている私は。十二年間、がむしゃらに働きながら、愛情をかけながら、息子を育ててきました。最近はばて気味ですが、これからも皆様に助けて頂きながら、がんばろうと思っています。

## 東京都大田区 N・Kさん

おかげ様で主人が亡くなった時1歳10ヶ月だった下の娘もこの春高校入学いたします。上の娘は3歳6ヶ月、事故があったのはこの子の入園式前日でした。その年は暖かくて桜が散ってしまい、園庭の桜の花びらでじゅうたんのようだったと卒園式の当時の言葉を思い出します。二人とも、将来何になりたいのか思案中のようですが、人の役に立てるような仕事をしてほしいと願っています。高校卒業まであと数年ですが、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 京都府伏見区 M・Eさん

いつも様々な支援をしていただきありがとうございます。夫を突然の事故で亡くし、悲しく淋しい思いをしていましたが、支援をいただくことにより一人ではないという気持ちになり強くなれたと思っています。橋本むつさんの「橋本給付金」は娘の高校、息子の中学入学に伴い、制服や準備品に使わせていただく予定です。娘に橋本むつさんの事を話すと「すごいね」と感謝していました。

子どもが大きくなり手がかかるなくなる半面、お金が必要となる事が多く不安はありますが、自立してくれるまでもう少し踏ん張りどころで頑張ろうと思います。ありがとうございました。

## 匿名希望

いつもご支援いただきありがとうございます。娘は今年中学校に入学します。高身長を生かし（小学6年生で164センチになりました）、小学校のクラブ活動から引き続き、バレーボール部に入るそうです。

3年前、主人が亡くなった時は、子どもと2人でどうやって生きていいのかと途方にくれましたが、交通遺児等育成基金をはじめとした公的な支援制度や、両親や友人、職場の同僚やご近所の方にも支えていただきながら暮らしています。このような状況にならなければ、人の温かみや優しい心遣いに気付かなかつたかもしれません。

主人のことを思い出しては、まだ悲しみに暮れてしまいますが、明るく元気に成長していく娘を見ると、まだまだ私も頑張らなければと思います。

## 【基金事務局より】

春ですね！学校や公園、家々の庭先に色とりどりの花が咲き始め、目を楽しませてくれますね。今でこそお花見と言えば桜の花のことを言いますが、奈良、平安時代頃までは梅を見ることが主流だったのだそうです。

お花見の対象は梅でも桜でも菜の花でもいいのです。少し時間が空いたとき、ご近所をお花見散歩してみませんか。